

ご存じですか！文化財

14

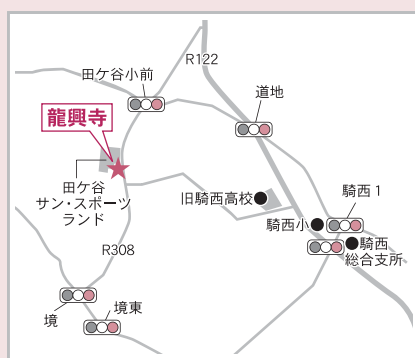
「足利氏ゆかりの寺
龍興寺散策」

龍興寺散策

わいしましたが、今は数軒の店が出るのみです。



問合せ
騎西教育事務所
(☎内線153)



所在地 上崎1890

寺の南から境内に入ると、右手

に140cmの法華塔(江戸時代後期)、左手に200cmの地藏尊立像(江戸時代中期)、騎西地域では最古の庚申塔があり、庚申塔の下には三猿像が刻まれています。

さらに進むと、左手に東日本では珍しい魔除けの石塔である、高さ70cmの石敢当(昭和56年12月2日市指定文化財)があります。

そこから50m進むと虚空蔵堂があります。虚空蔵菩薩は丑寅生まれの人の守り本尊で、正月が旧暦のころは、2月13日が縁日でした(今は1月13日)。昔、縁日には数十軒の露天商でにぎ

虚空蔵堂の右手に本堂、改築された鐘楼堂、鎌倉時代後期に造立された青石塔婆の石塔(昭和12年3月31日県指定文化財)が、左手に相撲の行司木村藤次郎の碑、その奥に足利持氏・春王・安王の供養塔(昭和9年3月2日県指定文化財)があります。供養塔は、永享の乱(1439年)で自害した父足利持氏と殺害された兄の春王・安王のため、三男の永寿王(後の古河公方足利成氏)が建てたといわれています。



足利持氏・春王・安王の供養塔

紹介者 新井 敏夫さん(上崎)